

平成16年7月1日

周南市長 河村 和 登 様

新南陽地区地域審議会

会長 菊地 光雄

周南市まちづくり総合計画基本構想案について（答申）

平成16年4月28日付周企第41号2で諮問を受けたまちづくり総合計画基本構想案について、別紙のとおり答申いたします。

はじめに

新南陽地区地域審議会は、まちづくり総合計画基本構想の答申にあたって、当地区における現状や課題などを把握した上で対応しようと、昨年から自主的な勉強会を含め計14回の討議を重ねてきました。

討議の過程では、いかにしたら「ひとが輝き 元気なまち」がつかれるかを基本に、委員たちの熱っぽい意見が交わされました。

その中でも特に、

1. 基本構想、基本計画、新市建設計画に盛り込まれた事項を実現させるためにも「行財政改革」を積極的に推進することが基本であり、その際、数値目標、期日を明記することが市民の理解と協力を得る上で必須である。
2. 答申書を検討していただき、行間にはじめ委員たちの「まちを愛する気持ち」をくみ取っていただきたい。
答申の重要性に配慮いただくことが、今後の地域審議会の活力を高め、元気発信都市の創造につながると信ずる。

上記2点は当審議会委員たちの共通した意見であり、強い要望でありました。

以下に、答申の内容を示しますが、提案等に包含される当審議会の意を十分にくみ取って活用されることを要望します。

新南陽地区地域審議会 会長 菊地 光雄

周南市まちづくり総合計画・基本構想（案）に対する答申

1. 基本的考え方

（1）総合計画・基本構想は周南市全体像がわかる最上位計画とする。

「基本構想」は最上位計画である。したがって、まちづくりの目標、施策の大綱、行政経営方針に関しては、数値目標を含めた具体的な姿で示すことが望ましい。

具体的な姿で示すことが市民の参画、協力をよび、市民主役のまちづくりにつながると考える。

（2）「行財政改革の推進」の重要性の認識と「情報の公開の徹底」の必要性

本市における主な課題の順序として「（1）行財政改革の推進」を最初に置き、「（9）情報の公開の徹底」を追加する。

「行財政改革」は、新市総合計画を強力に推進するための起動力であり、推進力であることは論をまたない。特に周南市の場合、財政基盤が厳しい状況にあり、合併の大きなメリットはこの行財政改革による基盤強化にあることは、市民の衆目の一致するところである。

別途行政改革大綱を作成中とのことも聞いているが、基本構想が最上位計画であることからしても、主な課題の第一に「行財政改革の推進」をあげたい。

また、「（9）情報公開の徹底」は、今後の市政運営上不可欠であり、追加したい。

（3）「地域輝きプロジェクト」の提案

基本構想（案）の主要プロジェクトは、後述のごとく、

「ひと輝きプロジェクト」

「地域輝きプロジェクト」とすることを提案する。

一方、新市建設計画の「21リーディングプロジェクト」は、既に議会で承認済みであり、基本構想序論第1章で総合計画は「新市建設計画を包括するもの」との記述がある。

「ひと輝きプロジェクト」「地域輝きプロジェクト」は「21リーディングプロジェクト」と当然のことながら関連しており、両者の関連付けを「基本計画」で明らかにすることが市民にとってわかりやすいと判断した。

したがって、基本構想からは「21リーディングプロジェクト」の表を削除した。

2. 全体の構成

(1) 主要プロジェクトに「地域輝きプロジェクト」を挿入すること。

地域審議会は、総合計画に対して主として「地域」の切り口から検討する立場にある。しかし、今回提示の総合計画に、答申或いは意見具申しようとする場合、地域面からアプローチしにくいスタイルとなっている。

参考までに合併後の他都市の総合計画をみると、地域別記述が多く見受けられる。

(例)

- ・上越市 基本構想(土地利用)・基本計画(地域別整備計画)
 - ・さいたま市 基本計画(各区の将来像)
 - ・西東京市 基本計画(新市建設計画重点施策《アクションプログラム》)
- (注) 合併都市でなくても、地域別記述が多く見られる。
- ・武生市 基本構想(地域別発展構想)・基本計画(地域別発展計画)

地域の活力は都心部の活性化を促し、全体として都市の発展を力強く支えてくれるものである。

したがって、「基本計画」第6章 主要プロジェクト

主要プロジェクト	ひと輝きプロジェクト	の次に
主要プロジェクト	地域輝きプロジェクト	を設けたい。

市民の暮らしにかかわりの深い「地域輝きプロジェクト」を推進して、その喜びの力を、全体のまちづくりに結集させたい。

「基本構想」には主要プロジェクトを、「基本計画」には「21リーディングプロジェクト」を踏まえた地域別整備計画を入れることを要望する。

(2) 「施策の大綱」と「主要プロジェクト」の配列について

第7章「施策の大綱」は、第3章「まちづくりの目標」に近いほうが市民の立場に立つと理解しやすい。

第6章の「主要プロジェクト」は重点的、横断的な施策であり、21リーディングプロジェクトと関連が深いものである。

よって、「主要プロジェクト」を「施策の大綱」の次に記載することを提案する。

第6章	第7章
第7章	第6章

3 . その他全般に関わる事項

(1) 「基本構想」の記述は外来語を多用せず、平易で簡明な表現が望ましく、そのためにも、図、表、数値を用いる等工夫をし、市民から見てわかりやすいものにしてほしい。

(2) 合併により、「郊外地区」「中山間部及び島しょ部地区」は種々の整備事業から置き去りになる危機感を持っている。

「市民の視点にたったまちづくり」「各地域の自立的な発展を促すまちづくり」を推進して、不安を解消してほしい。

4 . 個別の章に対する意見

別紙に具体的な項目記述について当審議会の意見を示した。

修正、追加または提案に包含される当審議会の意を十分にくみ取って活用されるよう要望する。

別紙（４．個別の章に対する意見）

原案に対し、以下のように修正を提案します。

序 論

第１章 総合計画策定の趣旨、意義及び性格

策定の趣旨、意義

P 1	原案	<u>合併により充実された行財政基盤やスケールメリットを最大限に生かして、今後、どのようにまちづくりを進めていくかが重要です。</u>
15行 ～ 16行	修正	<u>合併により組織のスリム化・効率化と民間活力の積極的な導入で行財政基盤を強化し、合併効果を最大限に生かして、今後、どのようにまちづくりを進めていくかが重要です。</u>

（内容と理由）

合併したことにより、即行財政基盤が充実するわけではなく、今後の努力で行財政基盤を強化することが前提条件となる。

第２章 総合計画の名称、目標年度及び構成

総合計画の名称

P 3	原案	<u>（例１）『ヒューマン・ビジョン・しゅうなん』</u> <u>（例２）『ひと・輝きプラン』</u>
3行 8行		<u>「ヒューマン・ビジョン・しゅうなん」</u> <u>「ひと・輝きプラン」</u>
	修正	<u>『ひと・輝きプラン』</u> <u>「ひと・輝きプラン」</u>

（内容と理由）

「ひと・輝きプラン」を採択したい。

基本構想

第1章 計画の背景

1 時代の潮流

(3) 高度情報化の進展

P 6	原 案	SOHO
下から 5行	修 正	(下段に注釈が必要) <u>SOHO... (Small Office Home Office) 自宅や自宅周辺のオフィスで、情報技術を活用して仕事を行う勤務形態のこと。</u>

(内容と理由)

2 市民意識

(5) まとめ

P 1 5	原 案	今後のまちづくりのイメージとしては、安心・安全が最も多く、次いで活気・にぎわいとなっており、災害に強いまちづくりや中心市街地の活性化を意識したものであると思われます。
7行	修 正	今後のまちづくりのイメージとしては、安心・安全が最も多く、次いで活気・にぎわいとなっており、 <u>犯罪のない、そして</u> 災害に強いまちづくりや中心市街地の活性化を意識したものであると思われます。

(内容と理由)

防犯についての記述を挿入する。

3 周南市の課題

(2) 超高齢少子社会への対応

P 1 6	原案	山口県の平均は下回るものの、高齢化率は21.1%(平成14年10月1日時点)となっており、全国平均を上回っています。
17行	修正	山口県の平均(23.5%)は下回るものの、高齢化率は21.1%(平成14年10月1日時点)となっており、全国平均の18.5%を上回っています。

(内容と理由)

数値を記入する。(総務省「国勢調査報告」より)

(3) 高度情報化への対応

P 1 7	原案	追加
10行から	修正	さらに、インターネット等を通じて地域価値を創造することによって、周南市を全国に発信していくことが必要です。

(内容と理由)

地域から全国に向けた情報発信として、高度情報化を捉える必要がある。

(6) 災害に強いまちづくりの推進

P 1 8	原案	(6) 災害に強いまちづくりの推進 <u>平成7年の阪神淡路大震災以来、災害に対する意識は高まっており、市民の間に安全な暮らしを求める声が増えています。</u> まちづくり市民アンケートにおいても、今後のまちづくりのイメージとして、「安心、安全」が最も高い値を示しています。 <u>周南市は、他の地域に比べて、地震や台風などの自然災害は比較的少ない状況にありましたが、</u>
1行から		

		<p>(3) 安全で災害に強いまちづくりの推進</p> <p>まちづくり市民アンケートにおいて、今後のまちづくりのイメージとして、「安心、安全」が最も高い値を示しています。</p> <p><u>全国的に犯罪が多発、多様化しており、犯罪防止に対する個人個人の意識を高めていく必要があります。特に、青少年の犯罪が急増しており、地域組織や警察等と連携するなど地域ぐるみの取り組みが求められています。</u></p> <p><u>地震や台風などの自然災害においては、周南市は比較的少ない状況にありましたが、</u></p>
--	--	--

(内容と理由)

市民アンケートの順位に沿って、3番目に位置づける。(1番目に行財政改革、2番目に拠点性の向上)

また、防犯に関する記述が必要と判断し追加した。

(7) 若者定住対策の推進(就業の場の確保)

P18	原案	(7) 若者定住対策の推進(就業の場の確保)
末尾に追加	修正	<p>(4) 若者定住対策の推進(定住者の増加方策の推進)</p> <p>(末尾)</p> <p>また、定住者の増大を図るためには、快適な居住空間の創出や子どもや高齢者、障害者等の弱者に優しいまちづくりなど、住んでよかった、住んでみたいと思える魅力的なまちづくりが求められます。</p>

(内容と理由)

市民アンケートの順位に沿って、4番目に位置づける。

また、若者だけではなく、あらゆる層の定住者増加策を進めないと人口増には至らない。

追 加

P 1 8 追加	原案	追加
	修正	<p>(1) 行財政改革の推進</p> <p>合併は行政の最大のリストラと言われていています。合併効果は、合併後の行財政改革によってはじめて現れてくるものです。職員の意識改革を行い、徹底的に無駄を省くことはもとより、今後は限られた経営資源の中で事業を選択していくことが求められます。また、組織のスリム化・効率化と民間活力の積極的な導入等により、行財政基盤を強化していくことが必要です。</p>

(内容と理由)

行財政改革の推進を、第 1 の課題としてとりあげたい。

追 加

P 1 8 末尾に追加	原案	追加
	修正	<p>(9) 情報公開の徹底</p> <p>行政に対し市民の理解と信頼を得るには情報の公開が不可欠です。個人情報の保護に留意しつつ、積極的に情報を公開していくことが必要です。</p> <p>とりわけ、行財政改革には痛みが伴うものです。市民との信頼関係の構築なしには進められるものではありません。市民にはまず情報を公開し(透明性)、説明を行い(説明責任)、理解を求めた上で進める必要があります。</p>

(内容と理由)

情報公開はこれからの行政には必須であり、市民との協働の面からも不可欠である。

第 2 章 将来の都市像

基本理念

P 1 9 8 行 ~ 9 行	原案	合併により充実された行財政基盤などのメリットを最大限に有効活用し、まちづくりを進めていくことが大切です。
	修正	合併により組織のスリム化・効率化と民間活力の積極的な導入で行財政基盤を強化し、合併効果を最大限に有効活用し、まちづくりを進めていくことが大切です。

(内容と理由)

前出

【市民協働による人間尊重のまちづくりの推進】

P 1 9	原案	【 <u>市民協働による人間尊重のまちづくりの推進</u> 】
1 5 行	修正	【 <u>市民が主役と実感できる人間尊重のまちづくりの推進</u> 】

P 1 9	原案	このため、まちづくりへの市民参画を一層推進し、 <u>市民とのパートナーシップに基づいて</u> 、市民本位の施策、事業の展開を図っていくとともに、こうした取り組みを通じて、 <u>人材が育つまちづくりを進めていきます。</u>
1 8 行 ~ 2 0 行	修正	このため、まちづくりへの市民参画を一層推進し、市民本位の施策、事業の展開を図っていくとともに、こうした取り組みを通じて、 <u>市民が主役と実感できるまちづくりを進めていきます。</u>

(内容と理由)

市民協働から一歩進めて、市民主役のまちづくりがこれからは必要となる。

第3章 まちづくりの目標

3 (ひとが) 安心して生活できるまちづくり

P 2 1	原案	さまざまな危険から守ることのできる、災害に強いまちづくりを進めます。
下から 2 行 ~	修正	さまざまな危険から守ることのできるよう、 <u>防犯・防災体制を整備し、安全で災害に強いまちづくりを進めます。</u>

(内容と理由)

防犯についての記述がないので追加。

第6章 主要プロジェクト

P 2 6	原案	第6章 主要プロジェクト（まちづくりにおける特定課題） 第7章 施策の大綱
	修正	第6章 施策の大綱 第7章 主要プロジェクト

（内容と理由）

主要プロジェクトの位置を、施策の大綱の後ろに置く。

主要プロジェクトとは、施策の中で特に総合的・横断的対策の必要な戦略的事業のことだと考えられるので、施策の大綱の後の方がよい。また課題ではないので、括弧書きは削除する。

P 2 6	原案	<u>取り組むとともに、「新市建設計画」に掲げられている21のリーディングプロジェクトの積極的な推進を図ります。</u>
4行 ～ 6行	修正	<u>取り組めます。</u> <u>また、周南市として一体化を醸成しつつ、地域の特性を生かしたまちづくりを推進するため、「地域輝きプロジェクト」として重点的に取り組めます。</u>

（内容と理由）

新市建設計画は別の計画で推進するので、あえて主要プロジェクトに加える必要はない。むしろ、地域の特性はそのまま伸ばしていく施策が必要である。

主要プロジェクト

P 2 6	原案	<input type="text"/> 主要プロジェクト ひと輝きプロジェクト
7行	修正	<input type="text"/> 主要プロジェクト ひと輝きプロジェクト

（内容と理由）

、 は主要プロジェクトの後ろにつける。

主要プロジェクト

P 3 0 全部 修正	原 案	<p><u>主要プロジェクト</u> 21のリーディングプロジェクト</p> <p><u>元気で活力に富んだまちづくりを推進するため、「拠点性の向上」「豊かさの創造」「一体性の確保」の3つの視点から、新市建設計画のリーディングプロジェクトとして位置づけられている21のメイン事業の積極的な推進を図ります。</u></p> <p><u>(以下省略)</u></p>
-----------------------	--------	---

修正	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">主要プロジェクト</div> 地域輝きプロジェクト
	<p style="margin-left: 40px;"><u>コンセプト</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>新市建設にあたっての基本的な考え方は、「元気発信都市の創造」「豊かさの創造」です。</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>そのためには、市内の各地域がそれぞれの個性に基づいて活力を発揮し、そこに住む市民一人ひとりが豊かさを実感できることが必要です。</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>地域の活力は都心部の活性化を促し、全体として都市の発展を力強く支えてくれます。</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>将来的に県勢発展をリードする元気な中核都市周南を実現していくためにも、地域が輝くことのできる施策を推進していくことが重要です。</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>テーマ(目標)</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>「地域の個性を伸ばし、均衡ある発展を図る」</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>各地域の個性や特徴を踏まえ、バランスよく発展するようなまちづくりに取り組みます。また、このことによって周南市民としての一体感の醸成を目指します。</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>テーマ実現に向けた具体的な取り組み</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>テーマ実現に向けて新市建設計画で規定されている関連事業を「地域輝きプロジェクト」として、旧2市2町の各地域における特性や市民意識に配慮しつつ、総合的に推進します。</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>【徳山地域】</u></p> <p style="margin-left: 40px;"><u>(記述)</u></p>

	修正	<p><u>【新南陽地域】</u></p> <p><u>例</u></p> <p><u>新南陽地域では、旧新南陽市の時代から青少年の健全育成、生涯学習、男女共同参画、まちの顔づくりなどを基本として、市民活動を主体にしたまちづくりに取り組んできました。</u></p> <p><u>そうした経緯を受け、新市建設計画では「学び・交流プラザ整備事業」を、豊かさを創造するための中心事業の一つとして位置づけています。</u></p> <p><u>周南市にあっても、そうした新南陽地域の歴史的な経緯も踏まえ、次のことを重点的に取り組みます。</u></p> <p><u>1. 「青少年の健全育成」「生涯学習」「男女共同参画」などに取り組む市民活動をさらに活性化させるための各種支援を行うとともに、永源山から図書館等にかけての周辺を周南市全体におけるそうした市民活動の活動拠点として位置づけ、積極的に環境整備を行います。</u></p> <p><u>2. 永源山周辺地域を市民全体の憩いの場・交流の場として、また周南市の新たな顔として活用・整備を図るとともに、内外に向けての情報発信を積極的に行います。</u></p> <p><u>【熊毛地域】</u></p> <p><u>(記述)</u></p> <p><u>【鹿野地域】</u></p> <p><u>(記述)</u></p>
--	----	---

(内容と理由)

地域の特性を生かしたプロジェクトを主要プロジェクトとして推進すべき。

第7章 施策の大綱

1 (ひとが)心豊かに暮らせるまちづくり

(2) 学校教育の充実

P 3 1	原案	追加
下段	修正	学校教育の今後の方向として、地域住民と学校とが緊密な連携を図っていくことが必要です。地域住民が公立学校の運営に参加することのできる「地域運営学校」制度の導入を図ります。

(内容と理由)

地域運営学校制度はすでに導入されている地域も多い。地域住民が学校運営に参加できるシステムを導入すべき。

2 (ひとが) 快適に暮らせるまちづくり

(1) 都市基盤の整備・充実

P 3 3	原案	(追加) また、公園については
20行 下	修正	また、車とひとが共存するためには、ひとが安全で楽しく歩ける場所を作り出すことが必要です。ひとが人らしく、安全で都市生活を楽しめるような道路環境づくりを推進します。 公園については、

(内容と理由)

「(ひとが) 快適に暮らせる」という視点から上記のように追加したい。

P 3 3	原案	追加
23行 下	修正	また、公園に限らず、他の公共施設や民有地においても、計画的な緑化の保全、推進を図ります。

(内容と理由)

「みどり」の保全、推進が必要。

(2) 資源循環型社会の構築と自然環境の保全

P 3 4	原案	追加
-------	----	----

6行 下	修正	また、最近増加が著しいごみの不法投棄や放置自転車等の問題にも積極的に 対応していきます。
---------	----	---

(内容と理由)

不法投棄等の防止強化について挿入。

(4) 国際化への対応

P 3 5	原案	周南市においてもさまざまな分野で国際交流を推進し、国際化に対応したまち づくりを進めます。
1行	修正	周南市においても姉妹都市との交流はもとより、市内在住の外国人との交流、 市民団体による国際交流、企業や商工会議所等の経済交流など、さまざまな分 野で国際交流を推進し、国際化に対応したまちづくりを進めます。

(内容と理由)

市内在住の外国人との交流、市民団体の交流や経済交流について挿入。

3 (ひとが)安心して生活できるまちづくり

(2) コミュニティ基盤の整備・推進

P 3 6	原案	活動の拠点となる公民館等の充実に努めます。
1 6行 ~ 1 7行	修正	活動の拠点としてコミュニティ集会所、公民館等の充実や公共の遊休施設の有 効利用に努めます。

(内容と理由)

公共の遊休施設を地域のコミュニティ活動等に有効利用すること。

(4) 災害に強いまちづくりの推進

P 3 7 3 行 ~ 7 行	原 案	<p><u>(4) 災害に強いまちづくりの推進</u></p> <p><u>周南市は、他の地域に比べて、地震や台風などの自然災害は比較的少ない状況にあります。平成 7 年の阪神淡路大震災などを通じて、市民の安心、安全に対する意識はますます高まる傾向にあります。</u></p> <p><u>このため、市民が安心して、ここ周南市で暮らせるよう、「周南市地域防災計画」や</u></p>
	修 正	<p><u>(4) 安全で災害に強いまちづくりの推進</u></p> <p><u>グローバル化に伴う犯罪の多発、多様化を踏まえて、警察を核に地域と連携して犯罪を防止する環境の整備を図ります。また、青少年の問題行動を早期に発見し、対応できる体制を整え、子どもたちの安全確保に向けて地域との連携強化を進めます。さらに、交通安全の環境を整え、交通安全の意識の浸透を図ります。</u></p> <p><u>災害に対しては、「周南市地域防災計画」や</u></p>

(内容と理由)

防犯に関する記述がない。

P 3 7 1 5 行	原 案	市民の防災に対する意識の高揚
	修 正	市民の <u>防犯</u> 、防災に対する意識の高揚

(内容と理由)

防犯を加えること。

4 (ひとが) 元気で活躍できるまちづくり

(2) 産業の振興

工業・中小企業

P 3 8	原 案	<u>工業・中小企業</u>
	修 正	<u>工業</u>

(内容と理由)

(3) 観光の振興

P 4 0 1 4 行 下段	原案	追加
	修正	永源山公園の「ゆめ風車」、八代のツルはすでに地域のシンボルとして市内外に認知されていますが、周南市のシンボルとして全国に情報発信し、交流人口の増大や地域の活性化に努めます。

(内容と理由)

ゆめ風車とツルを周南市のシンボルの目玉にして、他の施設との組み合わせで観光の振興に向けて努めたい。

5 (ひとが)ともに築いていくまちづくり

(1) まちづくりへの市民参画

P 4 0 下から 7 行	原案	周南市が合併により <u>充実された行財政基盤などを背景として、</u>
	修正	周南市が合併により <u>行財政基盤を強化し、それを背景として、</u>

(内容と理由)

前出

P 4 0 下から 3 行	原案	周南市では市民と行政との <u>パートナーシップによるまちづくり</u>
	修正	周南市では市民を <u>主役としたまちづくり</u>

(内容と理由)

基本理念にあわせて、市民が主役のまちづくりとする。

P 4 1 6行	原案	<u>まちづくり活動などの自主的・主体的な取り組みへの関心が高まっています。</u> <u>このような活動を育成、支援し、市民のまちづくりに対する意識の高揚を図っていきます。</u>
	修正	<u>まちづくり活動などの自主的・主体的な取り組みが進んでいます。</u> <u>このような活動を支援するとともに、さらにこうした自主的・主体的活動が市民の間に幅広く展開されるよう、新たな市民活動を促進し、市民のまちづくりに対する意識の高揚を図っていきます。</u>

(内容と理由)

自主的・主体的市民活動はある程度根付いており、今後は活動を市民の間に幅広く広げていくことが必要。

P 4 1 8行 下段	原案	追加
	修正	地域活動においては、地域コミュニティを大切にし、最近特に不足している地域活動リーダーを養成します。

(内容と理由)

地域活動リーダーの養成を挿入する。

第8章 推進方策（行政経営方針）

P 4 2 1行	原案	第8章 <u>推進方策（行政経営方針）</u>
	修正	第8章 <u>行政経営方針</u>

（内容と理由）

第8章のタイトルの変更。この方が明確である、

1 行財政改革の推進

P 4 2 6行 ~	原案	<p><u>合併により充実された行財政基盤等のメリットがまちづくり全般に及び、施策、事業の効果的な展開に結びついていくためには、地方自治の基本原則である“最少の経費で最大の効果”が得られるよう、さらに行財政運営の効率化やスリム化に努めていかなければなりません。</u></p> <p><u>このため、行政改革大綱に基づいて、行政改革を積極的に推進し、財政運営の健全化、行政体制の効率化、組織・人事の活性化等に努めます。</u></p>
	修正	<p><u>合併効果を最大限生かすためには、組織のスリム化・効率化と民間活力の積極的な導入で行財政基盤を強化していかなくてはなりません。同時に、限られた経営資源の中で、何を選択するかが厳しく問われることとなります。</u></p> <p><u>行財政改革は行政のみならず、市民にも痛みを伴うものになります。そのため、まず、情報公開と市民への説明責任を徹底して果たしていきます。</u></p> <p><u>次に、行政改革大綱に基づいて、行政改革を積極的に推進し、財政運営の健全化、行政体制の効率化、組織・人事の活性化、民間活力による外部委託の推進、外郭団体の統廃合を含めた経営改善化等に努めます。</u></p> <p><u>行財政改革は、期限を定め、目標値を設定し、市民に改革の達成状況を公表しつつ、進めていきます。</u></p>

（内容と理由）

合併したことにより、即行財政基盤が充実するわけではなく、これからの行財政改革の取り組みが特に重要である。